

Hitachi Social Innovation Forum 2025 JAPAN OSAKA

2025.7.17 THU. 9:20-18:00

ヒルトン大阪 4F / 5F (JR大阪駅徒歩2分)

5月29日(木)より先行登録開始

<https://www.service.event.hitachi/regist/>



[ソーシャルメディアのご案内]



[社会イノベーションサイトのご案内]

社会イノベーションの取り組みをはじめとして、最新のテクノロジーやビジネストレンドなど、幅広い情報をお届けします。



HITACHI

ともに創る、未来の社会

～デジタルをコアに切り拓く、新たな景色～

近年、私たちのビジネスや生活を取り巻く環境は不確実さを増し、複雑に変化しています。事業のグローバル化や多角化、マルチステークホルダーとの協創の加速、Society 5.0の実現に向けた市民参加型の社会づくりなど、新たな価値創造が求められる時代になっています。

そのような中、日立グループでは、デジタルをコアに、環境・幸福・経済成長が調和する「ハーモナイズドソサエティ」の実現をめざしています。

「Hitachi Social Innovation Forum 2025 JAPAN, OSAKA」では、当社執行役社長兼CEO 徳永俊昭が、日立がめざす社会について語る基調講演をはじめ、特別セッション、ビジネスセッション、展示など多様なプログラムをご用意してお待ちしています。

日立グループのビジョンや取り組みをぜひ体感いただき、ともに明るい未来をつくっていきましょう。

Keynote Session

基調講演

7/17 THU. 13:00–13:30

KN01-01  

日立が描く 「ハーモナイズドソサエティ」

～環境・幸福・経済成長が調和する未来～

徳永 俊昭

(株)日立製作所
代表執行役 執行役社長兼CEO

日立は創業以来115年間、社会が直面する課題に技術で応え、事業領域を広げてきました。その使命は、これまで一度も変わっていません。一方、世界は、気候変動による異常気象の頻発や地政学的な緊張の高まりなど、かつてない大きな変化の渦中にあり、社会課題がより一層複雑かつ多重化しています。現代の経営者には、これらの課題をいかにダイナミックに解決できるかが問われているのです。こうした中、日立がお客さまとともにめざすのは、環境課題の解決、人々の幸福、経済成長のすべてが両立した「ハーモナイズドソサイエティ」です。本講演では、Lumadaを活用した最新事例とともに、取り組みの最前線をご紹介します。



Special Session 01

特別セッション1

7/17 THU. 9:20–10:20

SS01-01 

万博プロデューサーが語る 「未来どう作る？」

50年後の社会を体験できる「いのちの未来」パビリオンをプロデュースしたロボット学者でアバター開発を進めている石黒浩氏と、誰もが作り手になる未来を模索した「いのちの遊び場 クラゲ館」をプロデュースしたSTEAM教育家で音楽家、数学研究者の中島さち子氏が、技術とアートを活用しながら私たち自身が作る未来の可能性について語ります。



石黒 浩 氏
ロボット学者



中島 さち子 氏
音楽家・数学研究者・
STEAM 教育者



【モデレーター】
丸山 幸伸
(株)日立製作所
研究開発グループ
デザインセンタ
主管デザイン長

Special Session 02

特別セッション2

7/17 THU. 14:00–15:00

SS01-02 

壁を乗り越えて 共感と対話がひらく未来へ

変化の時代、個の壁、組織の壁、国境の壁。いま、私たちは数多くの「壁」を前にしています。『バカの壁』などの著作で、人間の本質に迫る解剖学者・医学博士である養老孟司氏、大阪・関西万博で対話の重要性をテーマにする「Dialogue Theater いのちのあかし」をプロデュースした映画作家の河瀬直美氏、言葉と文化の橋を架ける、日本文学研究者で大阪・関西万博シニアアドバイザーを務めるロバートキャンベル氏の3名が、一人ひとりがどのように「共感」と「対話」で壁を乗り越え、互いに力を合わせて未来をつくっていくのかについて語ります。



養老 孟司 氏
解剖学者



河瀬 直美 氏
映画作家



ロバート
キャンベル 氏

日本文学研究者
早稲田大学特命教授
せんだいメディアテーク館長

Exhibition 注目展示のご案内

日立グループがめざす未来社会に向けた、

ビジョンや製品、ソリューションから具体的な取り組みまでをご紹介します。

みなさまの課題解決の具体策・ヒントを探しにぜひご来場ください。



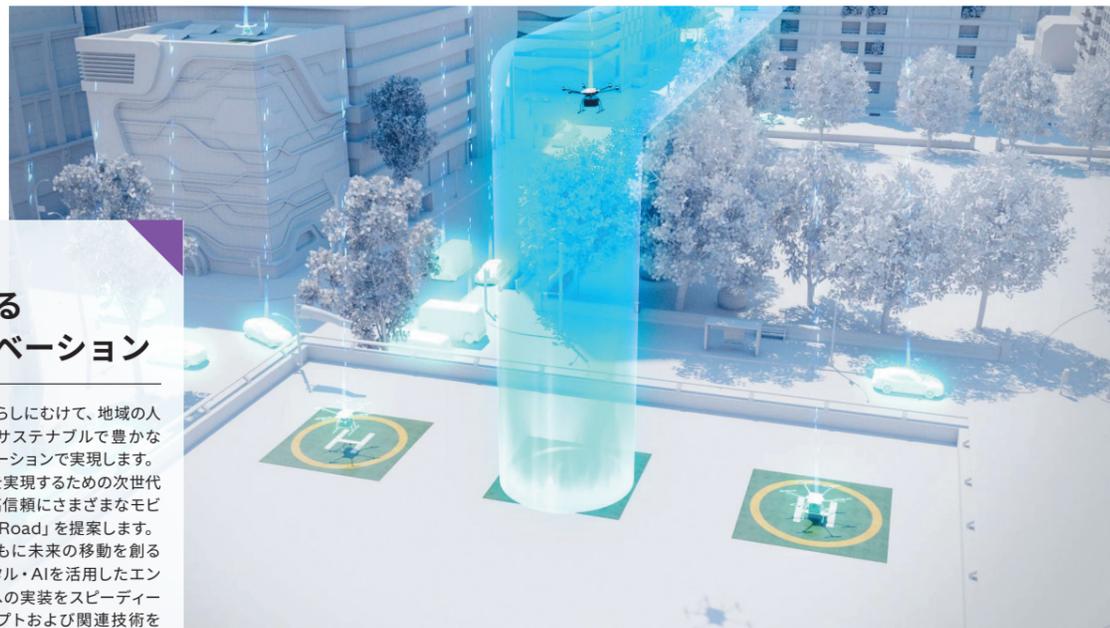
シアター

近年、Society 5.0の実現に向けた市民参加型の社会づくりなど、新たな価値創造が求められる時代になっています。シアターでは、異なる社会システムのデータをつなげることで街全体の調和を生み出す、とある地方都市の未来の様子をご紹介します。

未来の都市

未来の都市を創る モビリティイノベーション

未来の都市がめざす調和する暮らしにむけて、地域の人やモノをスマートに循環させ、サステナブルで豊かな暮らしを次世代モビリティソリューションで実現します。日立は、移動しやすい未来都市を実現するための次世代社会インフラ制御システムや、高信頼にさまざまなモビリティ運行を実現する「Digital Road」を提案します。さらに、地域住民や関係者とともに未来の移動を創るために、デジタルツインやデジタル・AIを活用したエンジニアリング技術により、都市への実装をスピーディーに進めます。本テーマのコンセプトおよび関連技術を実証結果やムービーによりご提示予定です。



デジタルセントリック

OTとITを融合したサステナブルな 次世代型データセンターの実現

生成AIやクラウド普及によりデータセンターの需要が拡大し、消費電力増大や専門人材不足、レガシーシステム維持の難しさなどの課題が顕在化してきています。これらの課題に対し、日立では「データセンターのライフサイクル・エコシステムを支えるプレイヤー」となることをめざし、データセンター領域において一気通貫のソリューションを提供していきます。特にAI向けデータセンター設備商材の強化やセキュアなデータ管理とAIの有効活用の推進、環境負荷を低減する「グリーンデータセンター」事業の推進、電力最適化と運用自動化などOTとITを融合した「One Hitachi」での事業展開およびソリューション開発・強化に向け取り組んでいます。



※画像はイメージです。

デジタルセントリック

ヒトとAIの協働による フロントラインワーカーの革新

日立は1,000件以上の生成AIユースケースを活用し、製造現場の技能継承や生産性向上に取り組んでいます。本展示では、「GenAIアンバサダー」などのスペシャリストが、Lumadaで蓄積した現場のOTナレッジと先進ITを融合した革新事例や保守問い合わせAIエージェント、鉄道車両を製造する笠戸工場の画像解析AIシステムなどをご紹介します。



グリーンエネルギー

EV・バッテリー活用による脱炭素・ 資源循環・レジリエンス強化への 取り組み

中長期で普及が進むEVでは環境負荷低減、蓄電などのエネルギーインフラとしての活用が期待されます。多様な充電ニーズに対応する「マルチポートEVチャージャー」を活用した通勤車両のEVへの転換促進、CO₂削減を実現する「Workplace E-Powering」、南海トラフ地震も懸念される中、非常時にマンションなどのエレベーターや給水ユニットへ給電しBCP対応を強化する「V2Xシステム」、EVTトラックの配送計画立案サービス、EVバス向けの効率的な充電システムなど、ビル、地域間を連携した高度なエネルギー最適化を実現。さらにEVのバッテリー製造から利用、リユース、リサイクルまでライフサイクル全体での最適なマネジメント推進で脱炭素、資源循環、レジリエンス強化の実現に貢献します。

幸せな生活

人々の健康と幸せを支える バイオ医薬と再生医療への取り組み

バイオテクノロジーの進歩により、がんやアンメット・メディカル・ニーズに対する新しい医療への期待が高まっています。日立は、「抗体医薬プラント」で培った豊富なドメインナレッジを強みに、「培養シミュレーション」、さらには「製造・品質管理システム」「ヘルスケアデータ解析プラットフォーム」などのデジタルソリューションで、医薬品の開発から上市までの期間短縮と高品質安定製造に貢献しています。同じ取り組みは、再生医療の領域でも始まっており、リスク分析に基づき施設運用を支援する「汚染管理戦略支援サービス」、トレーサビリティを担保する「再生医療等製品バリューチェーン統合管理プラットフォーム」などでエンジニアリングチェーン全体にわたる課題を解決し、再生医療の産業化とウェルビーイングの実現をめざします。



各領域のスペシャリストがお客さま、パートナー、有識者との議論を通じて、ご来場のみなさまの実際のビジネスにどう貢献できるのか、多彩な情報をお届けします。

ビジネスセッション 1 | BS01-01 | 未来の都市 | 9:50-10:50

市民参加型による未来都市の実現に向けて

 <p>小山 修氏 日上市 共創プロジェクト推進本部 部長</p>	 <p>山口 周氏 独立研究者 著作家 パブリックスピーカー</p>	 <p>パービー 氏 お笑い芸人</p>	 <p>佐野 豊 (株)日立製作所 社会イノベーション事業統括本部 統括本部長</p>	 <p>【モデレーター】 加治 慶光 (株)日立製作所 Lumada Innovation Hub Senior Principal</p>
---	--	--	--	--

ビジネスセッション 4 | BS01-04 | 未来の都市 | 14:00-14:50

環境・人・モビリティが調和する未来 ~HMAXをきっかけとした鉄道イノベーション~

 <p>田淵 剛氏 西日本旅客鉄道(株) 理事 鉄道本部副本部長 鉄道本部イノベーション本部長</p>	 <p>矢川 雄一 (株)日立製作所 社会システム事業部 事業部長</p>	 <p>中村 海香 日立レール Head of Strategy & Operations Excellence</p>
---	---	--

ビジネスセッション 2 | BS01-02 | サステナビリティ・環境 | 10:50-11:40

未来から逆算せよ！ ~マルチステークホルダーで考えるサステナビリティ経営~

 <p>原 圭史郎氏 大阪大学大学院工学研究科 教授</p>	 <p>土岐 大介氏 BNPパリバ・アセット マネジメント(株) CEO・代表取締役社長</p>	 <p>津田 恵 (株)日立製作所 理事 グループ環境本部長兼 グループサステナビリティ本部長</p>	 <p>【モデレーター】 小谷 真生子氏 経済キャスター</p>
--	--	---	---

ビジネスセッション 5 | BS01-05 | 幸せな生活 | 15:20-16:10

一人ひとりの幸せな生活とウェルビーイングを実現する再生医療 ~自身の細胞からつくるmyiPS細胞の可能性と新たな産業化拠点での取り組み~

 <p>塚原 正義氏 (公財)京都大学iPS細胞研究財団 業務執行理事 研究開発センター センター長</p>	 <p>風間 裕介 (株)日立製作所 インダストリアル AI ビジネスユニット 水・環境事業統括本部長 (株)日立プラントサービス 取締役社長</p>	 <p>【モデレーター】 竹内 香苗氏 フリーキャスター</p>
--	---	--

ビジネスセッション 3 | BS01-03 | グリーンエネルギー | 11:50-12:40

エネルギーとデジタル融合による持続可能な未来への取り組み

 <p>アンドレアス シーレンベック (株)日立製作所 執行役専務エナジー事業責任者兼 パワーグリッドビジネスユニット CEO/Hitachi Energy Ltd. CEO</p>	 <p>鈴木 彩子 日立GEニュークリア・エナジー(株) 原子力生産本部 担当本部長</p>	 <p>木明 緑 日立エナジー・ジャパン(株) グリッドオートメーションビジネス ユニット シニアソリューション コンサルタント</p>	 <p>【モデレーター】 村木 風海氏 炭素回収技術研究機構 (株)(CRRA) 代表取締役機構長・CEO</p>
---	--	--	--

ビジネスセッション 6 | BS01-06 | デジタルセントリック | 16:40-17:30

【クロージングセッション】 デジタル・AI時代の「生きがい」を考える ~現場のウェルビーイング向上~

 <p>茂木 健一郎氏 脳科学者</p>	 <p>阿部 淳 (株)日立製作所 代表執行役 執行役副社長</p>	 <p>【モデレーター】 加治 慶光 (株)日立製作所 Lumada Innovation Hub Senior Principal</p>
--	--	--

Timetable 2025.7.17 THU. タイムテーブル

Theme ● 未来の都市 ● サステナビリティ・環境 ● デジタルセントリック ● グリーンエネルギー ● 幸せな生活

	5F 桜の間	4F 金の間
9:00		
10:00	特別セッション1 SS01-01 9:20-10:20 万博プロデューサーが語る「未来どう作る？」 ロボット学者 石黒 浩 氏 音楽家・数学研究者・STEAM教育者 中島 さち子 氏 【モデレーター】(株)日立製作所 丸山 幸伸	ビジネスセッション1 BS01-01 9:50-10:50 市民参加型による未来都市の実現に向けて 独立研究者 著作家 日上市 パブリックスピーカー 山口 周 氏 お笑い芸人 (株)日立製作所 佐野 豊 氏 【モデレーター】(株)日立製作所 加治 慶光
11:00	ビジネスセッション2 BS01-02 10:50-11:40 未来から逆算せよ! ~マルチステークホルダーで考えるサステナビリティ経営~ 大阪大学大学院 工学研究科 原 圭史郎 氏 BNPパリバ・アセット マネジメント(株) 土岐 大介 氏 (株)日立製作所 津田 恵 氏 【モデレーター】経済キャスター 小谷 真生子 氏	
12:00		ビジネスセッション3 BS01-03 11:50-12:40 エネルギーとデジタル融合による持続可能な未来への取り組み (株)日立製作所 アンドレアス シーレンバック 氏 日立GEニュークリア・エナジー(株) 鈴木 彩子 氏 日立エナジー ジャパン(株) 木明 緑 氏 炭素回収技術研究機構(株)(CRRA) 村木 風海 氏 【モデレーター】
13:00	基調講演 KN01-01 13:00-13:30 日立が描く「ハーモナイズドソサエティ」~環境・幸福・経済成長が調和する未来~ (株)日立製作所 徳永 俊昭	
14:00	特別セッション2 SS01-02 14:00-15:00 壁を乗り越えて 共感と対話がひらく未来へ 解剖学者 養老 孟司 氏 映画作家 河瀬 直美 氏 日本文学研究者 早稲田大学特命教授 せんだいメディアテーク館長 ロバート キャンベル 氏	ビジネスセッション4 BS01-04 14:00-14:50 環境・人・モビリティが調和する未来 ~HMAXをきっかけとした鉄道イノベーション~ 西日本旅客鉄道(株) 田淵 剛 氏 (株)日立製作所 矢川 雄一 氏 日立レール 中村 海香 氏
15:00		
16:00		ビジネスセッション5 BS01-05 15:20-16:10 一人ひとりの幸せな生活とウェルビーイングを実現する再生医療 ~自身の細胞からつくるmyiPS細胞の可能性と新たな産業化拠点での取り組み~ (公財)京都大学iPS細胞研究財団 塚原 正義 氏 (株)日立プラントサービス 風間 裕介 氏 【モデレーター】フリーキャスター 竹内 香苗 氏
17:00		ビジネスセッション6 BS01-06 16:40-17:30 【クロージングセッション】デジタル・AI時代の「生きがい」を考える ~現場のウェルビーイング向上~ 脳科学者 茂木 健一郎 氏 (株)日立製作所 阿部 淳 氏 【モデレーター】(株)日立製作所 加治 慶光
18:00		

●プログラムは、変更となる可能性があります。最新の詳細情報につきましては、オフィシャルサイト(https://www.service.event.hitachi/regist/)をご覧ください。
●当日の進行状況により、開始時間が変更となる場合がございます。●記載の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

2025年 日本国際博覧会

(略称：大阪・関西万博)

2025年4月13日(日)~10月13日(月)

大阪府大阪市此花区 夢洲

日立は、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)未来社会ショーケース事業「フューチャーライフ万博・未来の都市」のプラチナパートナーとして、「Society 5.0と未来の都市」をテーマに、KDDIと共同展示を行います。



HITACHI

PLATINUM PARTNER



大阪・関西万博公式キャラクター ミヤクミヤク

©Expo 2025

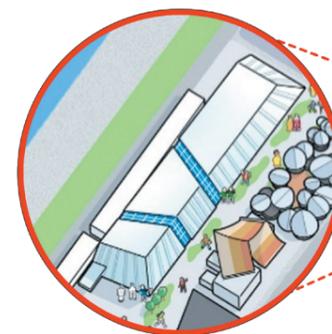


日立製作所「未来の都市」公式サイト



万博関連情報を発信中!

Hitachi EXPO2025



提供：2025年日本国際博覧会協会
画像はイメージです。実際の会場とは配置・建物形状が一部異なる場合がございます。また本画像の無断転載・複製は一切お断りします。



大阪・関西万博関連展示

Hitachi Social Innovation Forum 2025 JAPAN, OSAKAでは、5F ホワイエにて「未来の都市」パビリオンの見どころ紹介など万博に関する関連展示を行います。ぜひ、お立ち寄りください。

Session 講演・セッション一覧

Theme ● 未来の都市 ● サステナビリティ・環境 ● デジタルセントリック ● グリーンエネルギー ● 幸せな生活

同時通訳 手話通訳

基調講演 | KN01-01 | 13:00-13:30

日立が描く「ハーモナイズドソサエティ」 ～環境・幸福・経済成長が調和する未来～

日立は創業以来115年間、社会が直面する課題に技術で応え、事業領域を広げてきました。その使命は、これまで一度も変わっていません。一方、世界は、気候変動による異常気象の頻発や地政学的な緊張の高まりなど、かつてない大きな変化の渦中にあり、社会課題がより一層複雑かつ多重化しています。現代の経営者には、これらの課題をいかにダイナミックに解決できるかが問われているのです。こうした中、日立がお客さまとともにめざすのは、環境課題の解決、人々の幸福、経済成長のすべてが両立した「ハーモナイズドソサイエティ」です。本講演では、Lumadaを活用した最新事例とともに、取り組みの最前線をご紹介します。

徳永 俊昭
(株)日立製作所

特別セッション1 | SS01-01 | 9:20-10:20

万博プロデューサーが語る 「未来どう作る？」

50年後の社会を体験できる「いのちの未来」パビリオンをプロデュースしたロボット学者でアバター開発を進めている石黒浩氏と、誰もが作り手になる未来を模索した「いのちの遊び場 クラゲ館」をプロデュースしたSTEAM教育家で音楽家、数学研究者の中島さち子氏が、技術とアートを活用しながら私たち自身が作る未来の可能性について語ります。

石黒 浩氏
ロボット学者

中島 さち子氏
音楽家・数学研究者・STEAM教育者

【モデレーター】
丸山 幸伸
(株)日立製作所

特別セッション2 | SS01-02 | 14:00-15:00

壁を乗り越えて 共感と対話がひらく未来へ

変化の時代、個の壁、組織の壁、国境の壁。いま、私たちは数多くの「壁」を前にしています。『バカの壁』などの著作で、人間の本质に迫る解剖学者・医学博士である養老孟司氏、大阪・関西万博で対話の重要性をテーマにする「Dialogue Theater いのちのあかし」をプロデュースした映画作家の河瀬直美氏、言葉と文化の橋を架ける、日本文学研究者で大阪・関西万博シニアアドバイザーを務めるロバートキャンベル氏の3名が、一人ひとりがどのように「共感」と「対話」で壁を乗り越え、互いに力を合わせて未来をつくっていきけるのかについて語ります。

養老 孟司氏
解剖学者

河瀬 直美氏
映画作家

ロバート キャンベル氏
日本文学研究者 早稲田大学特命教授
せんだいメディアテーク館長

ビジネスセッション1 | BS01-01 | 未来の都市 | 9:50-10:50

市民参加型による未来都市の 実現に向けて

山積する社会課題の解決、そして環境・幸福・経済成長が調和する「ハーモナイズドソサエティ」の実現をめざす日立製作所は、創業の地である日立市とともに「次世代未来都市」に向けチャレンジしています。(取り組み領域は、エネルギー、交通、ヘルスケアなど。)日立が得意なデジタルを活用した次世代社会システムの整備は有力な解決手段です。そしてさらに、両者の「共創プロジェクト」がめざすのは、市民が自ら参加し創る未来社会。住みやすい地域や都市づくりには何が必要なのか。本セッションでは、日立市のプロジェクトリーダーである小山修氏、自治体でのアドバイザー経験もある山口周氏、生まれ故郷の町おこしに尽力するパービー氏を迎え議論していきます。

小山 修氏
日立市

山口 周氏
独立研究者 著作家
パブリックスピーカー
【モデレーター】
加治 慶光
(株)日立製作所

パービー 氏
お笑い芸人

佐野 豊
(株)日立製作所

ビジネスセッション2 | BS01-02 | サステナビリティ・環境 | 10:50-11:40

未来から逆算せよ！ ～マルチステークホルダーで考えるサステナビリティ経営～

サステナビリティ経営は、過去の延長だけでは実現できません。必要なのは「未来からの逆算」であり、社会・企業・投資が交差する中での新たな意思決定のあり方です。本セッションでは、フューチャーデザイン、ESG投資、AIによるシナリオ実装などの先進的な取り組みを通じて、持続可能な未来をどうともに創り出せるのかを考えます。

原 圭史郎氏
大阪大学大学院工学研究科

土岐 大介氏
BNPパリバ・アセットマネジメント(株)
【モデレーター】
小谷 真生子氏
経済キャスター

ビジネスセッション3 | BS01-03 | グリーンエネルギー | 11:50-12:40

エネルギーとデジタル融合による 持続可能な未来への取り組み

日本ではS+3Eの原則に基づく持続可能なエネルギー政策の実現が求められている一方、電力システムを取り巻く環境は不確実性が増しています。電力業界は生成AIの普及や電化の進展による電力需要増加への対応とカーボンニュートラル実現の両立、熟練技術者の高齢化や労働人口減少に伴う省力化・効率化の必要性など、多くの経営課題に直面しています。本セッションでは、エネルギー分野が転換期を迎える中、「プラネタリーバウンダリー」「ウェルビーイング」「経済成長」が調和する社会実現に向け、IT・OT・プロダクトを融合したデジタルソリューションや日立エナジーおよび原子力ビジネスユニットの取り組みを交えながら、すべての人に持続可能なエネルギーを届ける未来の電力システム構築をめざす、真のOne Hitachiの取り組みをご紹介します。

アンドレアス シーレンバック
(株)日立製作所

鈴木 彩子
日立GEニュークリア・エナジー(株)
【モデレーター】
村木 風海氏
炭素回収技術研究機構(株)(CRRA)

木明 緑
日立エナジージャパン(株)

ビジネスセッション4 | BS01-04 | 未来の都市 | 14:00-14:50

環境・人・モビリティが調和する未来 ～HMAXをきっかけとした鉄道イノベーション～

今後到来する労働人口の急速な減少を見据えて、現在の社会を支える人々が、より負担なく社会インフラを運用・維持し続けていく必要があります。そのような中、日立は列車ダイヤから車両・設備、電力管理など鉄道運行に関わるデータを統合的に収集・分析できるプラットフォーム・HMAX(Hyper Mobility Asset Expert)を通して、よりよい社会インフラの維持をサポートすることをめざします。本セッションでは、西日本旅客鉄道をお招きし、鉄道事業向けのさまざまな運用・保守ソリューションの事例と、より安全・安心かつ効率的に維持できる持続可能なモビリティの未来について語り合います。

田淵 剛氏
西日本旅客鉄道(株)

矢川 雄一
(株)日立製作所

中村 海香
日立レール

ビジネスセッション5 | BS01-05 | 幸せな生活 | 15:20-16:10

一人ひとりの幸せな生活と ウェルビーイングを実現する再生医療 ～自身の細胞からつくるmyiPS細胞の可能性と 新たな産業化拠点での取り組み～

今日、地球規模での気候変動を背景にさまざまな社会課題が顕在化する中、一人ひとりの幸せな生活とウェルビーイングの実現が強く求められています。さまざまな難病の克服に向けては、iPS細胞をはじめとする最先端の技術が、誰もが受けられるより身近な医療として広く普及することが期待されており、日立グループは製薬企業やアカデミア、公共組織、再生医療を支えるさまざまな企業と連携し、再生医療の産業化をめざす(産官学)エコシステムの一員として、早期実現にむけて取り組んでいます。本セッションでは、大阪・中之島で推進している京都大学iPS細胞研究財団との協創事例を中心に、未来の幸せな生活とウェルビーイングに貢献する再生医療の現状と展望について、企業とアカデミアそれぞれの立場から語り合います。

塚原 正義氏
(公財)京都大学iPS細胞研究財団

風間 裕介
(株)日立製作所
(株)日立プラントサービス

【モデレーター】
竹内 香苗氏
フリーキャスター

ビジネスセッション6 | BS01-06 | デジタルセントリック | 16:40-17:30

【クロージングセッション】 デジタル・AI時代の「生きがい」を 考える ～現場のウェルビーイング向上～

少子高齢化が進む中、多くの業界で労働力不足が深刻化しており、モノづくりの現場も例外ではありません。長年ミッションクリティカルな社会インフラを担ってきた日立は、データとテクノロジーを用いて、技術やノウハウの継承をはじめさまざまな現場の課題解決に向けた取り組みを進めています。本セッションでは、今回ゲストにお迎えする茂木健一郎氏の世界的ベストセラー「生きがい」をヒントに、これからのモノづくり産業を支える働く人々のウェルビーイングについて考えます。

茂木 健一郎氏
脳科学者

阿部 淳
(株)日立製作所

加治 慶光
(株)日立製作所

●プログラムは、変更となる可能性がございます。最新の詳細情報につきましては、オフィシャルサイト(https://www.service.event.hitachi/regist/)をご覧ください。
●当日の進行状況により、開始時間が変更となる場合がございます。●記載の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

Exhibition 展示一覧

Theme ● 未来の都市 ● デジタルセントリック ● グリーンエネルギー ● 幸せな生活

EX01-01 未来の都市

持続可能な社会の実現に向けたCPS基盤

日立は、建物や都市の活動情報や属性情報などの膨大なデータを3D情報でつなぎ、汎用的に扱えるようにすることで、リアル空間とデジタル空間をリアルタイムでつなぐCPS基盤を開発しています。これにより、AIやロボットはカメラやセンサーを使わずに仮想空間から情報を得て、人間と同じ認識を持って予測分析や自動制御が可能になります。さらに、多様な分野のサービス事業者に対して、自律ロボットやXRなどを活用したアプリケーション開発のために、都市データを容易に入手し利用できる機会を提供します。これにより、社会環境の変化や地域のニーズに応える都市サービスの開発が容易となり、持続可能な社会の実現に貢献します。

EX01-02 未来の都市

次世代未来都市の実現に向けた日立市との共創プロジェクト

創業の地である日立市との包括連携協定を2023年に締結、産官学金のステークホルダーとの連携を通じて、Society 5.0の実現により、すべての市民が豊かに暮らせる“サステナブルなまち”づくりをめざしています。日立市とランドデザイン策定、そして必要なステークホルダーとの巻き込みを実施し、地域課題解決に取り組んでいます。

EX01-03 未来の都市

SAKULaLa ～生体認証を活用したデジタルアイデンティティ共通プラットフォーム～

SAKULaLaは、デジタル格差是正、不正・成りすまし防止、労働力不足解消に貢献する、生体認証を活用したデジタルアイデンティティの共通プラットフォームです。利用者は一度の登録で、生体認証を活用した決済、ポイント付与、本人確認など業種を横断して、さまざまな店舗で利用可能です。また、加盟店などの事業者にとっては、自社で生体情報を管理することなく生体認証を活用したサービスを導入し、レジ待ち時間の短縮、ポイント会員の増加、不正転売の防止などを実現可能です。本展示では、生体認証を活用した決済の事例やサービスの特長をスペシャリストがご紹介します。

EX01-04 未来の都市

日立のメタバースを活用した原子力業界の次世代の働き方

原子力発電所を仮想空間上に再現し、現場全体をデジタルツイン化する、メタバースソリューションをご紹介します。本ソリューションは、日立GEニュークリア・エナジーと日立プラントコンストラクションが有する原子力分野の豊富な知見と、日立グループの先進デジタル技術を融合して開発しました。メタバースを活用することで、お客さまや日立グループをはじめ、関連するさまざまなステークホルダー間のコミュニケーションによる、円滑なエンジニアリングと工事を支援し、工程順守を実現します。会場では、実際のメタバース空間を体験できるデモンストレーションを通じ、原子力分野における次世代の働き方を提案します。

EX01-05 未来の都市

Frontline Coordinator - Naivy

フロントラインワーカーをAIで支援する技術をご紹介します。プラント向けユースケースでは、NVIDIA Omniverseを活用し、現場拡張メタバースを介してプラントの設計・施工管理を行う様子をデモします。これにより、現場状況をリアルタイムで確認し、施工計画をシミュレーションする技術を体感できます。施設管理向けユースケースでは、未熟練者がAIに問い合わせながらトラブル対応を実行し、不安を解消し自己効力感を向上する様子を実演します。

EX01-06 未来の都市

IT×OT×オートメーションによる現場革新 ～最初から最後まで一緒に取り組む人がいる～

労働人口の減少が課題となる中、日立は産業のデジタル化に向けた製造現場や構内搬送、物流センターにおける自動化の取り組みを推進しています。本展示では、製造・物流現場のフロントラインワーカーを支えるこれらの取り組みやプロダクトをご紹介します。

EX01-07 未来の都市

快適な生活空間を提供するグリーンでスマートなビルマネジメントソリューション

さまざまな社会課題が複雑化する中、ビルを取り巻く環境も変化し、環境に配慮したエネルギーや設備の効率的利用、ビル管理の効率化・高度化、利用者の快適性向上への関心が高まっています。ビルの資産価値向上に資する、利便性、快適性、安全性、省エネルギー化を実現するグリーンでスマートなビルマネジメントソリューション「BuiltMirai(ビルミライ)」をご紹介します。

EX01-08 未来の都市

インフラ保守(点検)を革新するドローンとAI映像解析技術

従来、インフラ点検において、作業員が高所や危険な場所を目視点検することから安全面、さらには少子高齢化による点検人財不足の深刻化が課題となっていました。これらの課題解決に向け、日立は、ドローン・AI映像解析技術を活用し、お客さまのインフラ点検の安全性・効率性向上をご支援します。本展示では、ドローン/カメラによる映像データ収集、その後の映像データ管理・解析に分け、それらをサポートするソリューションをご紹介します。

EX01-09 未来の都市

Digital Road for Air Mobility

日立は、モビリティインフラを安全、安心かつ効率よく運用するモビリティ管制基盤「Digital Road」を開発しました。物資輸送、点検、災害復旧支援などに適用され日々の暮らしをより安全で豊かにするドローンなど空のモビリティ向けにデジタル情報で運行を管理・制御する「空の道」を提供します。「Digital Road」は、天候や電波状況など飛行経路周辺の環境情報を収集してデジタル空間に統合、環境変化が機体の飛行に与える影響を予測して、環境や運行状況の変化を先回りして自動で運行を制御します。これにより、さまざまな用途で多くの機体を同時に運用する場合も環境変化による影響の少ない安定した運行を可能とします。

EX01-10 未来の都市

未来の都市を創るモビリティイノベーション

未来の都市がめざす調和する暮らしにむけて、地域の人やモノをスマートに循環させ、サステナブルで豊かな暮らしを次世代モビリティソリューションで実現します。日立は、移動しやすい未来都市を実現するための次世代社会インフラ制御システムや、高信頼にさまざまなモビリティ運行を実現する「Digital Road」を提案します。さらに、地域住民や関係者とともに未来の移動を創るために、デジタルツインやデジタル・AIを活用したエンジニアリング技術により、都市への実装をスピーディーに進めます。本テーマのコンセプトおよび関連技術を実証結果やムービーによりご提示予定です。

EX01-11 未来の都市

イベント来場者の安全な移動を支える統合交通情報管理・AI案内システム

労働人口の減少が進む現代社会では、人材の確保が難しくなる中、安全で快適な移動サービスの提供にも新たな対応が求められています。また都市で実施されるイベントでは、円滑な移動の実現に向け、移動者に対する交通情報の集約や旅客案内サービス提供の効率化も課題となっています。日立はこの課題に対し、移動者の輸送を円滑に行うための交通情報収集・管理、一元化、需要予測・リアルタイム分析を行い、移動者へ発信することで、混雑緩和や適切な案内による移動の効率化を実現します。また、フロントラインワーカーとAI自動応答による旅客案内サイネージの共同業務による効果的な旅客案内を提供し、ヒトとAIの協働をめざします。

EX02-01 幸せな生活

人々の健康と幸せを支えるバイオ医薬と再生医療への取り組み

バイオテクノロジーの進歩により、がんやアンメット・メディカル・ニーズに対する新しい医療への期待が高まっています。日立は、「抗体医薬プラント」で培った豊富なドメインナレッジを強みに、「培養シミュレーション」、さらには「製造・品質管理システム」「ヘルスケアデータ解析プラットフォーム」などのデジタルソリューションで、医薬品の開発から上市までの期間短縮と高品質安定製造に貢献しています。同じ取り組みは、再生医療の領域でも始まっており、リスク分析に基づき施設運用を支援する「汚染管理戦略支援サービス」、トレーサビリティを担保する「再生医療等製品バリューチェーン統合管理プラットフォーム」などでエンジニアリングチェーン全体にわたる課題を解決し、再生医療の産業化とウェルビーイングの実現をめざします。

Exhibition 展示一覧

Theme ● 未来の都市 ● デジタルセントリック ● グリーンエネルギー ● 幸せな生活

EX02-02
幸せな生活

「診断×治療×デジタル」でがんを恐れることのない社会の実現へ

「誰もが笑顔あふれ、がんを恐れることのない社会へ」
超高齢社会の到来による、がん・生活習慣病など疾病の増加や医療費の増大。ヘルスケアのさまざまな社会課題に対応するため、日立ハイテクはヘルスケア事業に取り組んでいます。生化学・免疫・遺伝子検査などの診断領域と粒子線治療やX線治療、再生医療など、患者さんの身体にやさしい治療領域、それらをデジタルでつなぐことで新しい価値をご提供しています。本展示では、一人ひとりに最適な診断、治療を支援することにより、人々のQoL向上への貢献をめざすヘルスケア事業の概要をご紹介します。

EX03-01
デジタル
セントリック

ヒトとAIの協働によるフロントラインワーカーの革新

労働人口の減少や技術者不足が深刻化する中、AIを活用した業務改善・改革が求められています。日立は、持続可能な社会をめざし、Lumadaで蓄積したDXノウハウと1,000件以上の生成AIユースケースを活用し、製造現場の技能継承やフロントラインワーカーの生産性向上、競争力強化に取り組んでいます。本展示では「GenAIアンバサダー」をはじめとした生成AIスペシャリストが、現場のOTナレッジと先進ITを融合した革新事例や初出展のAIエージェント、AIソリューションをご紹介します。

EX03-02
デジタル
セントリック

OTとITを融合したサステナブルな次世代型データセンターの実現

生成AIやクラウド普及によりデータセンターの需要が拡大し、消費電力増大や専門人材不足、レガシーシステム維持の難しさなどの課題が顕在化してきています。これらの課題に対し、日立では「データセンターのライフサイクル・エコシステムを支えるプレイヤー」となることをめざし、データセンター領域において一貫通貫のソリューションを提供していきます。特にAI向けデータセンター設備商材の強化やセキュアなデータ管理とAIの有効活用の推進、環境負荷を低減する「グリーンデータセンター」事業の推進、電力最適化と運用自動化などOTとITを融合した「One Hitachi」での事業展開およびソリューション開発・強化に向け取り組んでいます。

EX03-03
デジタル
セントリック

製造業×生成AIエージェント 次世代サービス「Talkative Products」

生産現場においては、少子高齢化による人手不足や技術継承など、労働人口の減少が課題として挙げられます。日立産機システムはこれらの課題に対する取り組みとして、産業機器の稼働データやマニュアルなどのデータを分析し、状態変化を予測、また生成AIが最適な保守業務の提案を行い、効率的な運用を支援する対話形式「Talkative Products～話す機械～」を提供し、最前線で活躍するフロントラインワーカーを支えます。

EX03-04
デジタル
セントリック

日立グループのデジタル変革を実現する GlobalLogicのデジタルエンジニアリング

GlobalLogicは、グローバルで最大手かつ最先端の企業の多くから信頼されているデジタルエンジニアリングパートナーです。日立グループのデジタル変革を担うドライバーとして、インテリジェントな製品、プラットフォーム、サービスを通じたビジネスの変革において、日立の各事業部門と協力し、デジタル化が進む産業界のニーズに応えています。本展示では、GlobalLogicが日立グループと取り組むさまざまなデジタル変革の事例を、デモも交えながらご紹介します。

EX04-01
グリーン
エネルギー

持続可能な社会の実現に貢献するバッテリーソリューション

EV需要の増加やDX/GX、サーキュラーエコノミーへの対応加速もあり、リチウムイオン電池の更なる市場成長が期待されています。日立は電池製造から使用、リサイクルまでをカバーするバッテリーソリューションを提供しています。材料受け入れ時や電極製造時の検査、電極製造、モジュール・パック化、アセンブリオートメーション、データプラットフォーム、電池のリユース・リサイクル含め、バリューチェーン全体をサポートします。ITとOTの豊富な知見とミッションクリティカルな製品を組み合わせ、バッテリーバリューチェーン全体をつなぎ、お客さまに新たな価値を提供し、循環型経済の推進と持続可能な社会の実現に貢献していきます。

EX04-02
グリーン
エネルギー

EV・バッテリー活用による脱炭素・資源循環・ レジリエンス強化への取り組み

中長期で普及が進むEVでは環境負荷低減、蓄電などのエネルギーインフラとしての活用が期待されます。多様な充電ニーズに対応する「マルチポートEVチャージャ」を活用した通勤車両のEVへの転換促進、CO₂削減を実現する「Workplace E-Powering」、南海トラフ地震も懸念される中、非常時にマンションなどのエレベーターや給水ユニットへ給電しBCP対応を強化する「V2Xシステム」、EVトラックの配送計画立案サービス、EVバス向けの効率的な充電システムなど、ビル、地域間を連携した高度なエネルギー最適化を実現。さらにEVのバッテリー製造から利用、リユース、リサイクルまでライフサイクル全体での最適なマネジメント推進で脱炭素、資源循環、レジリエンス強化の実現に貢献します。

EX04-03
グリーン
エネルギー

グリーン社会の実現に向けたサステナブルソリューション 「EconIQ®」変圧器

日立エナジーは、グリーン社会の実現に向けて、再生可能エネルギーへのシフトやエネルギー効率の向上が進む中、変電機器の省エネルギー化、安全性、環境負荷低減を通してより持続可能なエネルギーシステムの構築を進めています。本展示の環境への配慮と安全性を両立させる変圧器と開閉装置の「EconIQ®」ソリューションは、従来の技術に比べて環境負荷を低減し、温室効果ガスの排出を削減する技術を採用しています。また、安全性を向上させるために、鉱油漏れによる汚染の影響を排除する設計などが施されています。日立エナジーは、これらの「EconIQ®」ソリューションの提供含め、産業と社会の持続的発展に貢献していきます。

EX04-04
グリーン
エネルギー

未来のエネルギーを支える小型原子炉BWRX-300の開発

生成AIや電化の普及から電力需要が急拡大し、地政学リスクからエネルギー安全保障の重要性も増す環境下、電力安定供給を実現する脱炭素電源として原子力発電の価値が再評価されています。日立GEニュークリア・エナジーは、米国姉妹会社GE Vernova Hitachi Nuclear Energy社と共同で、電気出力300MWのSMR「BWRX-300」の開発を進め、先進的なシステム導入により高い安全性を維持しながら小型原子炉の課題であった経済性を克服し、かつ、実績ある技術を採用することで早期に実用化しました。カナダ・オンタリオ州では、2030年末までにG7で初となるBWRX-300の運転開始を正式発表したほか、米国や欧州でも導入に向けた動きが加速しており、立地柔軟性も兼ね備えた次世代原子炉により脱炭素社会の実現をリードします。会場では、3Dディスプレイを活用したBWRX-300の模型を展示します。

EX04-05
グリーン
エネルギー

HVDC変換所のデジタルソリューション ～設計・建設・O&Mのデジタル改革～

再生可能エネルギーの導入加速に伴い、世界各地でHVDC(高圧直流送電)の需要が急拡大している中、短期間で確実なHVDCシステムの提供が求められています。しかし、HVDC変換所の建設には多くの関係者が関与し、そのインターフェースは重要であり、リスク要因ともなっています。日立エナジーは、3Dモデルを中心としたプロジェクト統合プロセス「BIM(Building Information Modeling)」を適用することで、関係者間での3Dモデルの統合や工程情報などのプロジェクト管理情報を共有し、プロジェクト品質を大幅に向上させます。さらに、建設中に得られた情報パッケージをデジタルツインO&Mソリューション「IdentiQ™」に移行することで、運用・保守(O&M)のデジタル改革を実現します。

EX04-06
グリーン
エネルギー

電力事業の計画から運用をサポートするデジタルソリューション

日立エナジーは、お客さまの計画立案を支援する電力市場・需給シミュレーションツール「PROMOD」やエネルギー取引・リスク管理統合ソリューション「ETRM」、エネルギー分野の投資の予見性向上を支援する「ノストラダムSA」を提供しています。また、設計・調達・建設・導入を支援するBIM(Building Information Modeling)、運用・保守業務における送電線周りの伐採業務を支援する「Hitachi Vegetation Manager」や、包括サービス契約(Service Level Agreement)に加えて、系統用蓄電池システム「e-mesh Energy Storage」など、エネルギー市場の競争環境の変化に迅速に対応できるよう支援します。

Hitachi
Social Innovation
Forum 2025
JAPAN
Digital  Week

HSIF2025 JAPAN Digital Weekのご案内

2025年7月24日(木)～8月29日(金)
HSIF2025 JAPAN公式HP内

7月17日(木)に行われるHitachi Social Innovation Forum 2025 JAPAN, OSAKAのアーカイブ動画をご覧ください。
さらに、オンライン限定のスペシャルコンテンツもご用意しています。

オンライン
限定
コンテンツ